

# くすのき

校訓「かしこく やさしく たくましく そしてふるさとを愛する子どもに」



HPQRコード

西合志第一小学校  
学校だより 第82号  
令和6年度最終号  
文責 校長 西村羊治  
令和7年3月19日

## ありがとうございました！

宝である全児童と全職員



今年度も残すところ約10日となりました。6年生は中学生、5年生から1年生は次の学年への進級です。それぞれの子ども達、日々「命」を大切に「成長」してくれました。今年度の学校目標は「夢を持ち、学び合い・支え合う児童の育成」でした。特に、黙想や立腰等の学習規律、いじめや差別をしない思いやり、学力の向上など人として大切な力を身に付けていくことを大切な「目標」として、全職員で取り組んできました。この1年間で子ども達は確実に少しずつ少しずつ「成長」しました。その少しずつが大きいのです。

例として、下に記したように子ども達のはつらつとした姿、思いやりのある姿、あいさつを元気にしてくれる姿、そうじをがんばる姿、周りの子と思いやりを持ってふれあう姿、先生と一緒に遊ぶ姿、全児童で盛り上がる姿、どれもがすばらしかったです。今年度は百五十周年記念事業も滞りなく実施でき、そのこともすばらしい思い出です。子ども達、保護者の皆さま、地域の皆さま、行政の方々、先生達、本当にありがとうございました。来年度もよろしくお願いいたします。

接戦の6年生 みんなで応援

## 全員での思い出

赤団・白団対抗全員リレーを3月11日（火）の昼休みに6年生主催で行いました。私の予想は、鬼ごっこやドッジボールだろうと思っていましたが、1年生～6年生までのリレーでした。正直、「リレーか～、盛り上がるかな。」とクエスチョンマークでした。ところがどっこい、1年生の第一走者から、走る子はもちろん、1年生から6年生までの全員の応援がものすごいのです。競ったり、差がついたり、逆転したりと走る子は一生懸命、他の子達は全員大きな声での声援です。1年生から上学年にバトンが渡るにつれさらにもものすごい盛り上がりです。声をかける職員も大はしゃぎです。最後の6年生になってさらに接戦となり、手に汗握る状況でした。全校児童と全職員でのすばらしい思い出ができました。



家に帰ってからやってきた5・6年生と先生 鬼ごっこ

## 誇りに思える西合志第一小

3月12日（水）児童の下校後、全職員で校内研修を実施しました。校内研修終了後は、各職員通知表作成などの業務をしていました。すると「建成先生、あそぼ～」という声が聞こえてきました。職員室から外を見ると5・6年生数名が笑顔でいました。建成先生は仕事の手を休め間髪入れず外に出て行きました。そういう声かけをする子ども、それに気持ちよく対応する職員、すばらしい関係です。子ども達と職員のすばらしい関係づくりはなくてはならないものです。

校長として誇りに思える出来事でした。

